

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年6月5日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890700016		
法人名	株式会社 フレンド		
事業所名	ふれんど小規模多機能施設 結城	ユニット名	—
所在地	〒307-0001 茨城県結城市大字結城11766-3		
自己評価作成日	平成24年12月27日	評価結果 市町村受理日	平成25年5月31日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kani=true&amp;JigyosyoCd=0890700016-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=021">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kani=true&amp;JigyosyoCd=0890700016-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=021</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年2月8日	評価確定日	平成25年5月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>送迎は、利用者様の希望の時間に添ってご利用できます。 朝7:30分より～夕方18:00に夕食を食べて帰宅することも出来ます。 急な事にも柔軟に対応致します、宿泊も長期も受け付けます。 常に利用者様のニュースに添って利用していただきたいと思っております。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は事業所の理念にある「利用者様が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮していける様支援して行きます」を第一に考え、利用者本位に生活ができるよう取り組んでいる。 定期的に歌や踊り、習字のボランティアの来訪があるほか、事業所行事の運動会や夏祭り、認知症研修会に地域の人々を招いて交流を図るなど、地域に根差した事業所づくりをしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	1年前より新しい理念を作り、職員一同共有し実践につなげています。	理念を玄関や居間兼食堂に掲示するとともに、職員は朝礼時に唱和して共有を図っている。 職員はケース検討会議においても理念にある「地域と連携交流を取りながら利用者が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮していける様支援して行きます」を第一に考え、実践につなげるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ふれんどだよりを配布したり、老人会、民小委の役員の方々に、お声かけし参加、交流を促している。	町内会に加入している。 習字ボランティアの定期的な来訪がある。 夏祭りや運動会など、事業所行事の際には町内会や老人会に参加を働きかけ、利用者が地域の人々と交流が図れるように努めている。 本年度は事業所主催で地域の人々を対象に認知症サポーターを講師に招いた研修会を公民館で開催している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方と認知症の勉強会を地域のコミュニティーセンターを借りて行った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月1度利用者様下の市役所、福祉課の方を招き行う。 利用者様の状況、行事について又、季節がらの伝達、意見も交換を計っている。	運営推進会議は2ヶ月に1回家族等の代表や市職員、民生委員、老人会会長、事業所職員で開催している。 会議では事業所の利用状況や活動状況を報告したり、職員研修の報告をしている。 運営推進会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かすように努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の研修、勉強会に参加し又、推進会、その他の会議に参加して頂いてます。又、問題点その他相談しています。	市主催の研修会に職員が交代で参加している。 管理者は困難事例を地域包括支援センターや市の介護福祉課に相談するなど、問題の解決に向けて日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束しないで1対1の支援をし、利用者様の話を聞いています。	身体拘束をしないケアに関するマニュアルを作成している。 年間を通した研修計画があり、職員は交代で研修を受講し、身体拘束の具体的な行為やその弊害を理解している。 事業所は車通りの多い道路に面しているため、帰宅願望の強い利用者の利用時には玄関を施錠しているが、家族等に説明して了解を得るとともに、市に報告をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市、県の勉強会に参加し職員に朝のミーティング等に伝える。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性を学び、利用者様とともに話し合い、活用しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約は、ケアマネー相談員と2人で訪問し、契約説明と施設の特徴様子などを伝え、了解得ます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	細やかに連絡調整し、お話し合いをしている。	玄関に意見箱を設置している。 家族等とは連絡帳を活用したり、来訪時に意見や要望を聴くよう努めている。 家族等から出た意見や要望は申し送りノートに記載するとともに、申し送りやミーティング時、職員会議などで共有し、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼、昼休み、月のミーティング等に意見交換をしている。	管理者は月1回職員会議を開催して職員から意見や提案を聞く機会を設けるとともに、出た意見等を運営に反映させている。 管理者は日頃から職員に話しかけたり問いかけたりして意見等が出せるような関係づくりに努めるとともに、現場で解決できるものはその場で解決している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	一人一人の勤務を考慮し、各自が楽しく勤める事のできる様、努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会自社の勉強会を設け、職員一人一人のスキルアップを図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約時、アセスメントを行い、利用者のしてほしい事を聞き、お互いの納得のいく様に努めていく。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	アセスメントを行い、家族様の話を聞き、納得のできる様支援して行きます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	依頼があると事前に出かけ、情報を集め、家族様、利用者様のニーズに沿って、対応できること、できないことを見極め、支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	いろんな行事の中で利用者様を観察し、できること、できないことを探し、信頼関係が築ける様支援して行く。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人、家族との架け橋になり、お互いが喜んでいた嬉しかったことなどの報告を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様のお友達のボランティアさん他、いろんな方のお手伝いを受けて、いろんな催しを行っております。	職員は利用者から話を聞いて生活歴や馴染みの人、場所を把握している。 地域での買い物を支援したり、地域の祭りや運動会への参加を支援し、馴染みの人や場所との関係が続くよう努めている。 利用者の知人が時々来訪して親交を深めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が一人一人を把握し、良い関係が保てる様支援しております。 利用者同士で一人の物を創り上げたりしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も時々施設又は、家族様に連絡を取り、様子を伺う。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様、家族の情報を職員間で共有し、希望に沿って支援できる様努めています。	利用者から聞いた情報や家族等が連絡ノートに記載した内容を申し送りノートに記録し、職員で共有を図っている。希望や意向の把握が困難な利用者に対しては、生活歴や家族等から話を聞くなどで、思いや意向の把握に努めている。			
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様、関わりのあった方々から情報を頂き、支援しています。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状態を把握し、支援計画を作り、それに沿ってリハビリ等も行い、1日を過ごしている。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議、モニタリングを実施して利用者の状態にあった支援を行っている。	居宅介護計画は1年毎に作成し、6ヶ月後にモニタリングを実施している。利用者の体調や状況の変化に合わせてサービス担当者会議を開催し、介護計画を見直している。小規模多機能型居宅介護サービスにおける介護計画を作成するまでには至っていない。	利用者や家族等の状態に合わせた柔軟かつ臨機応変な小規模多機能型居宅介護サービスにおける介護計画の作成が望まれる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の行動状態を記録し、職員間で共有し活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通所、訪問、宿泊を組み合わせ家族、本人様の希望を支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方、民生員老人会市役所包括センターボランティアの人々と交流を取りながら、支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、家族様の希望を大切にしています。 医療機関との良い関係を築いていける様支援しています。	かかりつけ医への受診は家族等が付き添うこととしているが、依頼があれば職員が送迎して付き添うとともに、受診結果を家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の状態を看護師職員で共有し、適切な対応をとっています。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お互いに情報を交換し、本人様、家族様にとって最善の支援が得られる様、協力しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	訪看さんなどと協力し、できる限り協力しますが、どうしても医療が必要な時は、家族様に説明し、それなりの所を紹介します。	事業所では重度化や終末期の対応は基本的にはしないこととしている。 利用者が重度化した場合は家族等や医療機関、訪問看護師、職員などで話し合い、利用者や家族等の意向を確認して医療機関につないでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故に備えて勉強会、研修会を開いている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回昼、夜想定し行っている。飲料水を備蓄している。反省点、課題を記録して行きたい。	年2回夜間想定を含めた避難訓練を実施し、内1回は消防署立会いの避難訓練を実施するとともに、消火器の使用方法を確認し、実施記録を作成している。 避難訓練で明らかになった課題の改善に向けて話し合っているが、避難にかかった時間や反省点などを記録するまでには至っていない。 避難訓練に近隣住民の参加は得られておらず、災害時における地域との協力体制を構築するまでには至っていない。 災害時に備え、乾パンや飲料水などを備蓄している。	避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう、民生委員や町内会役員を通して働きかけるとともに、災害時に備えて協力体制を構築することを期待する。 避難にかかった時間を記録に残すとともに、避難訓練で明らかになった課題の改善に向けて話し合った内容を記録し、次回の訓練につなげることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の人格を尊重し、プライドを傷つけない様声かけ、支援しています。	職員は利用者一人ひとりの生活歴や個性を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人とお話の場は設けますが、本人の意思決定ができない方が多い。昔の話（過去）のことは良く話す。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人、家族様の希望を大切にし、できる限り添える様、支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員がボランティアで散髪をしたり、床屋さんが火曜日、利用者様より希望があれば来てくれます。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	選択メニューを用意し、利用者さんに選んで頂き楽しみを持って頂く。月1回利用者様と職員と一緒に食べ、楽しく交流を持っています。又、お弁当持参で外出も季節により取り入れています。	業者から納入された食材を使って調理員が調理した昼食を提供している。昼食は2種類の献立から選択ができ、食事を楽しめるよう工夫をしている。粥や刻み食など、利用者の好みや状態に合わせて調理をしている。行事食や外食の機会を設けたり、月1回利用者や職員と一緒に食事をする機会を設けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分制限の方、他チェック表を作り、誰もがわかるようになっています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後必ず、口腔ケアをしています。できない方は全介助により行います。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間により排泄の誘導を行っています。オムツを減らす様、利用者様の状態に合わせて支援しています。	職員は排泄チェック表で利用者の排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らって声かけやトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事量、水分量のチェックを確認する。医師と相談し、便秘等は本人の負担にならない様している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個人個人に合わせた入浴をし、清潔になって頂き、お風呂への楽しみを持って頂く。	毎日利用している利用者には、週3回の入浴支援をしている。 利用者の状態に合わせて対応ができるよう、一般浴や機械浴、リフト浴の設備を備えている。 風呂場は安全に配慮して浴室用の椅子や手すりを設置している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休息室を清潔にし、気持ちよく安眠を取って頂ける様、心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人個人の薬を把握、管理し看護師がその都度、服薬を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	行事等でも個人個人役割を決め、手伝って頂く。完成とか、直しとげた時は皆で大喜びをします。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個人個人を把握し、急にでも外出行事を取り込んだり、気分転換を計ったりしながら行事に沿って支援しています。	気分転換を兼ねて散歩に出かけたり、近くのショッピングセンターに出かけ、少額の小遣いで買い物ができるよう支援している。 毎月買い物や公園などへの外出を計画し、外出の機会を多く設けている。 安心して出かけられるよう、外出先に車いす対応のトイレがあるかを事前に調べている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事にお買い物を入れ、利用者様にお金を使い、買うことの喜びを持って頂く様支援しています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年本人が年賀状を書き、大切な人に出しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月利用者様達のお手製のカレンダーを作り又、四季ごとに花を折り紙で折り、飾ったり楽しんでます。	利用者の作品作りとして月末に翌月のカレンダー作りに取り組んでおり、その作品が食堂の壁面に飾られている。 昼食時に音楽を流すなど、居心地のよい雰囲気づくりをしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置き、側にフットマッサージを置き、居場所を設置しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個人個人の宿泊室は自由に使って頂き、夜間室温の配慮を心がけています。	泊まりの部屋にはエアコンとタンスが備え付けられているほか、畳部屋とベッドの部屋があり、週2回から3回定期的に宿泊する利用者の場合は、前回と同じ部屋に宿泊ができるよう配慮している。 泊まりの部屋には利用者の好きな物品や使い慣れた物品を持参してもらうよう説明し、居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	職員と一緒にできることは進んでお手伝いをしてくれています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 ふれんど小規模多機能施設 結城

作成日 平成25年5月31日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	小規模多機能介護サービスにおける、介護計画を作成するまでにはいたっていない。	25年4月にさかのぼり、介護計画作成を行なう	小多機職員、利用者様と話し合いを持ち、一人一人計画作成を行う。	6ヶ月間
2	35	災害対策 昼、夜を想定し避難訓練を行う 近隣住民の参加を得る	年2回行いたい 地域の方々の参加希望。	地域の、自治会、老人会、民生委員の方々に一緒をお願いする。	1年間
3	3	2ヶ月に1回の運営推進会議を行っている 記録記載を行う	地域の方々にも出席して頂く。	会議録の記入、階催事書記を立てて行う。	1年間
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。